

技術的難度の高い特殊な橋梁工事における特定建設工事 共同企業体（JV）の導入について

1 目的

県内企業の施工実績が極めて少なく、技術的難度の高い構造形式、架設工法の橋梁工事が今後予定されている。

技術力向上と維持管理の担い手確保の観点から、特定 JV を導入し、県内企業の受注機会の確保を図る。

2 経緯

～H14 大規模で難易度の高い工事（トンネル、橋梁、ダム等）に特定 JV を導入

H15 特定 JV を原則廃止（「長野県公共工事入札等適正化委員会」答申）

H21 WTO 案件で特定 JV を導入

┌ H21 浅川ダム
└ H23 小道木トンネル

H25 トンネル工事※に特定 JV を導入 ※300m超又は技術的難度の高いもの

3 現状

県内企業の施工実績（過去 15 年間）

(1) アーチ橋（構造形式）	施工実績 11 橋中 2 橋
(2) ケーブルエレクション架設（架設工法）	施工実績 8 橋中 1 橋

4 取組内容

構造形式や架設方法など、県内企業に施工実績が少ない特殊な橋梁工事において、県内企業を含めた特定 JV 方式を導入

なお、発注にあっては技術提案の評価を重視する入札方法を検討

5 実施時期

平成 29 年 4 月以降の公告案件に適用